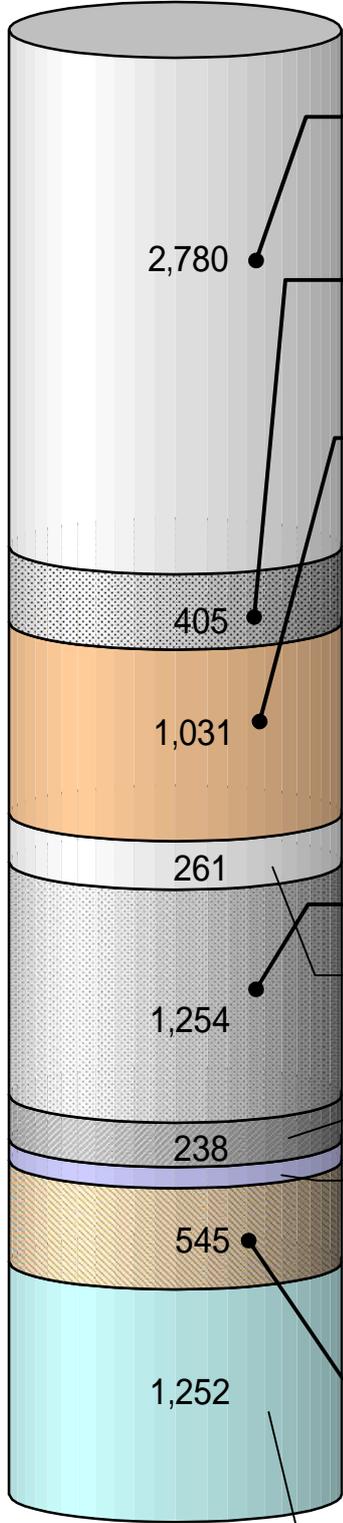


一般会計予算の概要

歳入

総額 **7,880** 億円

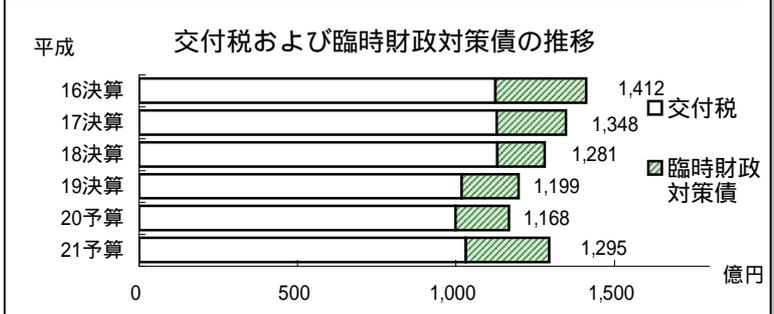
対前年度 +118億円 (+1.5%)



市税 対前年度 74億円 (2.6%)
 企業の業績悪化による法人市民税の減等により、前年度予算から2.6%の減となりました。

地方譲与税・地方特例交付金・道交付金
 対前年度 15億円 (3.5%)
 自動車取得税交付金や自動車重量譲与税の減等により、前年度予算から3.5%の減となりました。

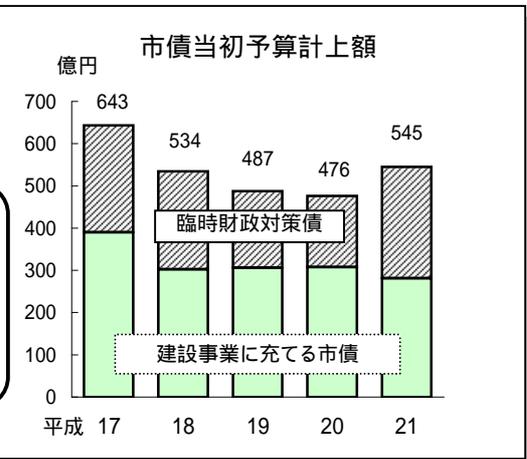
地方交付税 対前年度 +32億円 (+3.2%)
 交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では1,295億円となり、前年度予算から127億円、10.9%の増となりました。



分担金・負担金 / 使用料・手数料
 入園児数の増により保育料が増加するほか、21年7月から家庭ごみの有料化を開始することなどにより、前年度から20億円、8.2%の増となりました。

国庫支出金 (+5.3%)
 対前年度 +64億円
 生活保護や障害者自立支援など扶助費の増等により、前年度予算から5.3%の増となりました。

繰入金 114億円
 うち基金の取崩し(主なもの)
 財政調整基金 39億円
 まちづくり推進基金 15億円
 土地開発基金 35億円



市債 (+14.4%)
 対前年度 +69億円
 建設事業に充てる市債は減少しますが、臨時財政対策債の増により、前年度予算から大幅な増となりました。

諸収入等

総務費 対前年度 +3億円(+1.2%)

税源移譲に伴う単年度の還付金等は減少しますが、札幌市立大学大学院設置支援費の増等により、前年度予算から1.2%の増となりました。

保健福祉費 対前年度 +99億円(+4.5%)

生活保護や障害者自立支援など扶助費の増等により、前年度予算から4.5%の増となりました。

環境費 対前年度 +35億円(+21.5%)

指定袋製造などの家庭ごみ有料化関連事業や雑がみ分別収集・リサイクル事業のスタート等により、大幅な増となりました。

経済費 対前年度 +63億円(+7.3%)

景気対策緊急支援資金貸付の創設等により大幅な増となりました。

土木費 対前年度 8億円(1.1%)

除雪費については前年並みを確保しましたが、公園事業費等が減少したことなどにより、前年度予算から1.1%の減となりました。

教育費 対前年度 +16億円(+5.0%)

小学校改築費等は減少しますが、市立札幌大通高校整備費の増等により、前年度予算から5.0%の増となりました。

公債費 対前年度 34億円(3.4%)

公債利子が減少したことなどにより、前年度予算から3.4%の減となりました。

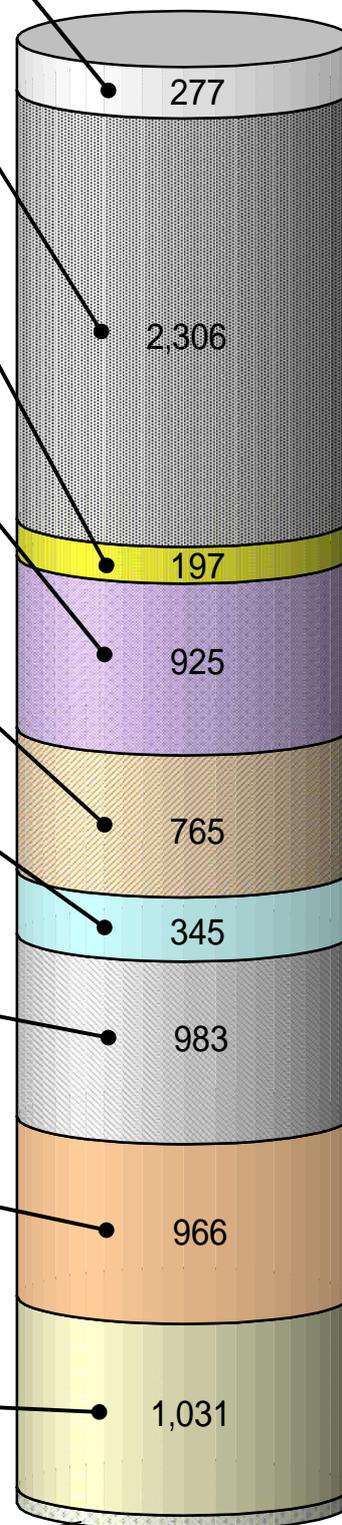
諸支出金 対前年度 38億円(3.8%)

老人医療会計や土地区画整理会計への繰出金の減等により、前年度予算から3.8%の減となりました。

職員費 対前年度 6億円(0.5%)

退職者数の増に伴い退職手当が増加しますが、事務事業の見直しに伴う職員数の減等により職員給与が減少するため、全体では前年度予算を下回りました。

歳 出



その他 84

1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

Point ・子育てと仕事の両立の支援や、子育て支援施設等の整備
 ・妊産婦の救急医療体制の整備や健診の拡大

子どもを生き
育てやすい
環境づくり

ー主要事業ー	予算額（千円）
ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	12,500
私立保育所新築費補助	91,635
私立保育所改築費補助	261,239
認可保育所整備促進事業	10,000
私立保育所老朽改築費等補助	106,500
私立保育所分園整備費補助	14,000
延長・一時保育事業費補助等	1,042,399
産婦人科救急医療対策	118,575
妊婦一般健康診査	1,121,976
仮称）北区保育・子育て支援センター整備	40,069
仮称）白石区保育・子育て支援センター整備	37,000
さっぽろ親子絵本ふれあい事業	13,800
福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	96,600
特定優良賃貸住宅供給事業	218,673

：新規事業、：ヘルプアップ事業

● 仕事と生活・子育ての両立を応援

ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に配慮する職場環境づくりに取り組む企業を支援するため、札幌市独自の基準で認証を行うとともに、希望する企業にアドバイザーを無料で派遣します。

また、一定の条件を満たす中小企業で、初めて育児休業取得者が出た場合や男性の育児休暇取得者が出た場合に助成金を交付します。



ワーク・ライフ・バランス
@SAPPORO

● 保育所定員を増やします

私立保育所新築・改築費補助

新築 1か所（定員 90人増）
 改築 2か所（定員 60人増）

認可保育所整備促進事業

新築 2か所（定員 120人増）

私立保育所分園整備費補助

分園 2か所（定員 40人増）



このほか廃園による60人減が見込まれます。

● 老朽保育所の改築等

私立保育所老朽改築費等補助

老朽化が著しい私立保育所が、入所児童の安全確保や保育環境の改善のために、改築や大規模修繕を行う場合の補助を実施します。



2園改築！

● 多様な保育サービスの充実

延長・一時保育事業費補助等

就労形態の多様化や育児に伴う心身の負担軽減など、子育て家庭の多様な保育需要に対応するため、延長保育事業、一時保育事業の実施設数を拡充します。



延長保育実施園
156か所 → 166か所

一時保育実施園
81か所 → 85か所

● 産婦人科救急医療体制の充実

産婦人科救急医療対策

産婦人科の救急医療体制を充実させるほか、助産師による夜間電話相談を引き続き行います。

また、妊婦等の症状に応じた適切な医療を提供するため、助産師による情報オペレーター業務の対象医療機関を、道央圏まで拡大します。

さらに、未受診妊婦の解消を目指して、新たな啓発活動を行います。



● 妊婦健診の公費負担を拡充します

妊婦一般健康診査

妊婦が健診費用の心配をせずに必要な回数の健診を受けられるよう、妊婦一般健康診査の公費負担の回数を14回まで増やすなど助成要件を拡大します。



● 絵本を通じた親子のふれあい

さっぽろ親子絵本ふれあい事業

保健センターの乳幼児健診時に、絵本を配布し、読み聞かせを行うなどして、絵本を通じて乳幼児と親が心ふれあうひとときをもつきっかけをつくります。



● 子育て支援の拠点を充実

区保育・子育て支援センター整備

すべての子育て家庭に対する支援の充実を図るため、従来の保育機能に加え、常設の交流スペース(子育てサロン)等の子育て支援機能を有する施設を整備します。

<北区>

市営住宅幌北団地の建替えにあわせて区保育・子育て支援センターを整備します。21年度は本体工事に着手し、運営開始は24年春の予定です。

<白石区>

現在の白石保育園を改修し、区保育・子育て支援センターに転換します。運営開始は22年春の予定です。



● 公園のバリアフリー化とキッズコーナーを整備

福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

親子や親同士がふれあえる、乳幼児を対象とした、キッズコーナーを5か所の公園に設置するほか、どなたでも公園を介して共に楽しく遊べることを目指して、地域との協働による既設公園のバリアフリー化を進めます。

